

【瀬谷区】平成28年第1回区づくり推進横浜市議会議員会議 議事録

| | |
|------------|---|
| 開催日時 | 平成28年2月8日 10時00分 ～ 12時00分 |
| 場 所 | 瀬谷区役所5階 大会議室 |
| 出席者 | <p>【座 長】川口広議員</p> <p>【議 員： 2名】花上喜代志議員、加納重雄議員</p> <p>【瀬谷区：40名】薬師寺えり子区長、上村啓一副区長、 里見正宏福祉保健センター長、近藤博幸土木事務所長 板坂健治福祉保健センター担当部長、ほか関係職員</p> |
| 議 題 | <p>1 平成28年度 瀬谷区編成予算案（個性ある区づくり推進費）</p> <p>2 その他（旧上瀬谷通信施設の状況について）</p> |
| 発言の 要 旨 | <p>花上議員：瀬谷区の個性ある区づくり推進費予算案は、他区と比べ、どのような特徴があるのか、考え方を伺いたい。</p> <p>薬師寺区長：地域の特性や課題をふまえて、支援が必要な子ども達に対する学習支援、生活支援などに力をいれたことと、来年3月から開催される緑化フェアに合わせた瀬谷区の魅力づくり事業などの予算を手厚くしました。</p> <p>花上議員：PFI方式の区役所が4年目になり、長所短所が見えてきたと思うが、区役所としてこのPFI事業をどう受けとめているか。</p> <p>薬師寺区長：最新の防災設備などの運営をPFI事業者がやっていることを心強いと感じているが、一方で、例えば公的施設の案内表示板のノウハウなどは行政の方が優れていると感じています。</p> <p>花上議員：瀬谷区内の二歳児のお子さんが保育園に入所したくても入れないという話を最近聞いたが、実態はどうか。</p> <p>金子学校連携・こども担当課長：瀬谷区では「保留児」としているが、10月の時点で11名となっている。実際には0歳児の方が多い。</p> <p>花上議員：0歳児は何人なのか。</p> <p>金子学校連携・こども担当課長：10月時点で、49人の保留児がいます。</p> <p>花上議員：新たに保育園を瀬谷区内につくる必要があるか。</p> <p>金子学校連携・こども担当課長：他の区では待機児がいるが、瀬谷区では待機児は0となっています。現在早急に保育園をつくらなくとも、横浜保育室、あずかり保育等のサービスを提供することで、対応できると考えています。</p> |

花上議員：未婚者が増えてるということで、区内でも未婚の適齢期といわれる人達の中で、機会に恵まれないという話をよく聞くが、実態を承知しているのか。

鳥海区政推進課長：区政推進課で広報、広聴を扱っておりますが、今のところ、そういった要望、情報を承ったことはありません。

花上議員：小学校を利用した学習支援の3校のモデル実施は、自薦方式で選定するのか。

金子学校連携・こども担当課長：校長会で、手を上げていただいたところがいくつかあり、現在調整中です。

花上議員：3校は具体的に決まっているのか。

金子学校連携・こども担当課長：二ツ橋小学校、原小学校、南瀬谷小学校を予定しています。

花上議員：3校以外にやりたいという学校はなかったのか。

金子学校連携・こども担当課長：やりたいけれど、ハード面でできないという学校もあります。今後は相談しながら考えていきます。

花上議員：区内の生活困窮世帯の実態を、どの程度把握してるのか。

豊島生活支援課長：生活困窮世帯の具体的な数については、把握が困難なところがあります。

花上議員：生活困窮世帯の学習支援ボランティア養成事業を新規で始めるにあたって、対象となる生活困窮世帯を把握していないと、ボランティアを養成しても機能するのかという懸念があるが、どのように考えているのか。

豊島生活支援課長：生活保護世帯の中学生が約200人で、そのうち半数ぐらいが、何らかの支援が必要なお子さん達と思われまます。そういうお子さん達にこれから学習支援をしていくにあたってのボランティアの養成講座であり、あわせて既存のボランティアさんにも、お子さん達への理解を深めていただきたいと思います、この事業を始めることとしました。

花上議員：ボランティア養成事業の対象者は、元教員等、学習支援にある程度知識を持った方になるのか。

豊島生活支援課長：特別な経験がなくても、ボランティアに興味がある方で、学習支援事業に参加したいという方をとっています。

花上議員：瀬谷区内の児童虐待の実態を把握しているのか。

秋野こども家庭支援課長：26年度現在、保護が必要、養育支援が必要な世帯ということで、区役所が把握している件数は300件ほどになります。

花上議員：どのような方法で把握したのか。

秋野こども家庭支援課長：市民の方からの通報や健診、新生児への個別訪問等で、情報を得ています。

花上議員：警察からの情報などもあるのか。

秋野こども家庭支援課長：日常的に警察の生活安全課とは連絡をとっていますので、警察から連絡をいただく場合もあります。

花上議員：事件化しているのもあるのか

秋野こども家庭支援課長：現在はありません。

花上議員：高齢者支援事業の予算は、この程度で充分という考えなのか。

伊澤高齢・障害支援課長：予算は、区づくり推進費と局の予算があるので、不足が生じることは無いと思っています。

花上議員：瀬谷区の高齢化率もかなり高いと聞いているが、現状はどうか。

伊澤高齢・障害支援課長：27年の9月末現在、瀬谷区が25.9%。横浜市が23.1%になっています。

花上議員：地域ぐるみでお年寄りの方々を見守るという仕組みが工夫できればと思うが、何か取組はしているのか。

伊澤高齢・障害支援課長：75歳以上の一人暮らしの高齢者が区内に約4千人いますが、この方について、民生委員の訪問、あるいは現場確認という活動をしています。瀬谷区は他区に比べて把握率が非常に高く、訪問等の結果については年度末に区役所と民生委員とケアプラザで情報を共有するようにしています。

花上議員：民生委員の把握率は高いのか。

伊澤高齢・障害支援課長：約6割と聞いています。

花上議員：残りの約4割の人達を把握する見通しはあるのか。

伊澤高齢・障害支援課長：継続している事業であり、地道に把握していくものと思っています。

花上議員：「ぽかぽかプラザ」の利用促進が、新規事業に盛り込まれたのは非常によかったが、さらに有意義な事業にするためには、どのように考えているのか。

伊澤高齢・障害支援課長：「ぽかぽかプラザ」は、利用者も非常に多く好評ですが、事業としては南部地区の拠点として、もう少し広い視点で事業展開あるいはPR等もやっていきたいと思っています。

花上議員：安全な街づくりということで、瀬谷警察署と防犯についてどんな話し合いが行われているのか。

春原地域振興課長：生活安全課と定期的に打合せをしています。地域にもきめ細かい情報を提供していきたいと考えています。

花上議員：地域ぐるみで犯罪を防いでいく取組が重要だ。区役所もしっか

り警察と連携を進めてほしい。そのあたりの考えを聞かせてもらいたい。

薬師寺区長：警察との連携は、私どもの業務を進めるうえで必要不可欠ですが、現在、非常に密接な連携ができていると感じています。

花上議員：地震災害あるいは水害に対する対策、崖地対策も含めて、災害対策は行政として大変重要な役割だが、新年度、具体的にどのように進めていこうとしているのか、全体的にどんな考えなのか。

日比野総務課長：新年度は、地域防災力向上事業の中の町の防災組織機能強化事業を特に強化しています。第一線で活動していただいている方がいかに動きやすくしていけるかということが重要と考え、町の防災組織、地域防災拠点の運営委員会とも一層連携がとれるように実施していきます。

花上議員：窓口サービスの向上は本当に大事な話です。職員の皆さんは、この事業を生かして、市民満足度の向上に努めてもらいたいと思うところだが、区長の考えを伺いたい。

薬師寺区長：昨年11月に実施した窓口サービス満足度調査では、18区中、栄区と瀬谷区が同率1位でしたが、職員には数字に一喜一憂するのではなく、基本姿勢として区民満足度の向上を常に頭に入れて欲しいということ伝えていきます。

加納議員：市営住宅の敷地内の照明灯のLED化をしっかりと進めてほしい。意見として申し上げておく。

加納議員：思春期の大切さ啓発事業について、若い女性、中学生、高校生達が赤ちゃんとふれあうことが大事だと思うが、考えを伺いたい。

秋野こども家庭支援課長：小学校、中学校で在校生の兄弟の赤ちゃんとふれあいというようなこともやっています。初めて赤ちゃんと接したという方が多い中で、命の大切さというものを非常に感じていただいていると思っています。

加納議員：赤ちゃんの駅事業。防犯上の問題も一方ではあると思うが、しっかりと推し進めてもらいたい。もっとPRした方がよいのではないか。

金子学校連携・こども担当課長：体制が整い次第、広報区版やチラシなどでPRしていきたいと考えています。

加納議員：ひとり親世帯の世帯数はどうか。

秋野こども家庭支援課長：児童扶養手当を受給されてる方は、瀬谷区内で約1,400名います。

加納議員：はまっこふれあいスクールは、全て放課後キッズに移行したのか。

金子学校連携・こども担当課長：いま移行している最中で、はまっこが7校、キッズが4校です。

加納議員：学童保育は何校か。

金子学校連携・こども担当課長：補助金が出ている所が6か所です。

加納議員：青少年関連団体は、どういう団体があるのか。

春原地域振興課長：ボーイスカウト、ガールスカウト、健民少年団など、一般に言われる5団体などです。

加納議員：育児不安を抱える養育者については、300人ぐらいにとらえているのか。

秋野こども家庭支援課長：区役所が虐待の恐れがあるとして把握している児童の数が300人です。

加納議員：マンパワーは充分であるのか。

秋野こども家庭支援課長：非常に職員が頑張ってくれています。増員もお願いしています。

加納議員：板坂部長に、この実態を踏まえて決意をお聴かせ願いたい。

板坂福祉保健センター担当部長：虐待対応の関係では、区役所が通報を受ける機関となった中で、職員が頑張っておりますので、今の状況を踏まえて、局にも申していきたいと思います。

加納議員：特定健診の再勧奨は、どれぐらいの割合なのか。

高橋保険年金課長：昨年11月、未受診の女性に対し、区独自のチラシを約7,500人の方に交付しました。

加納議員：再受診の割合は。

高橋保険年金課長：集計中ですので、検証については、これから行います。

加納議員：認知症の徘徊対策として、GPSの利用は区でも検討が必要と考えるが、どうか。

伊澤高齢・障害支援課長：徘徊の高齢者向けのGPSについては、市販で良い物がでており、まず、これを広く市民にお知らせしようと思っています。モデル事業化等については、健康福祉局と相談しながら対応したいと思っています。

加納議員：瀬谷さくら小学校の学区が泉区側に多少入っているが、泉区側から瀬谷さくら小学校に通うのに一部雑木林があって明るくしなければいけない。この件についていかがか。

斎藤土木事務所副所長：ご指摘の道路は、泉区域であり、泉区あるいは泉土木事務所には情報として伝えていきます。現時点で早急に対応できる状況ではないと聞いています。

加納議員：災害時の医療救護隊について教えてほしい。

藤澤福祉保健課長：医療救護隊は、1班目は定点で休日急患診療所に設置。その後、先生方が集まり次第、1班、2班と編成していきます。必要に応

じて、上瀬谷小学校と原中学校に2か所サテライトをつくります。

加納議員：瀬谷区の医師会に加盟している病院の数、そのうち区内に居住する医師が勤務している病院の数を把握してるのか。

藤澤福祉保健課長：医師会加入の医院は、60数法人だったと思います。先生方は約半数の方が徒歩圏に住んでいます。

加納議員：震度4の地震が発生した場合、どういう体制になるのか。

日比野総務課長：課長係長3名で班をつくり、当番でローテーションをつくっています。あわせて、総務課の課長・係長も参集します。

加納議員：子育て世帯3R夢推進事業の啓発チラシとグッズはどんなものか。

林資源化推進担当課長：チラシは、おむつの捨て方等の説明で、グッズは赤ちゃんの使いやすいように、3R夢絵柄のミニタオルです。

加納議員：企業活動のPRとならないように注意して進めてほしい。クリーンストリート事業とクリーンタウン横浜事業については、来年の緑化フェアにあわせて連携をする考えなのか。

薬師寺区長：花を植えるだけでなく、その前段として、きれいな環境を整えることが重要と考えており、その方向です。

加納議員：昼休みイベント事業は、どのような内容か。

春原地域振興課長：平日の昼間、公会堂のホワイエで区民の方の文化活動の発表を行っています。

加納議員：資料18ページ、「陳情処理件数」との記載があるが、「未処理件数」もあるということか。

斎藤土木事務所副所長：基本的にすべて何らかの形で、要望、陳情に関しては回答しており、そのようなものはありません。

加納議員：保育園の「保留児」とは、どのような子ども達なのか。

金子学校連携・こども担当課長：横浜保育室に入ってる方、育児休業中の方などを「保留児」として分類しています。

加納議員：区内の保育園の、定員に達していない欠員の状況を伺いたい。

金子学校連携・こども担当課長：28年の1月1日現在で69です。

加納議員：消防団第4分団第2班の器具置場の立ち退きの件はどのような状況か。

吉田瀬谷消防署副署長：第4分団第2班の器具置場が立ち退きを求められたため、車両は次の器具置場ができるまでの間、班長のお宅で預かっています。これは消防団の皆さんも了解しています。

加納議員：昨年実施したプレミアム商品券について、案内を全戸に配布するとのことであったが、そうではなかったようだ。瀬谷区では何パーセン

ト入って、何パーセント入ってないと、局から報告はあるのか。

春原課長：連絡を受けておりません。

加納議員：三ツ境駅周辺の横浜厚木線は、27年度中には着工予定であったが、現状と今後について教えてほしい。

鳥海課長：ご指摘のか所は、27年度までに着工とされていましたが、今回の議論の中で見直し、32年度までに事業着工とする予定となっています。

加納議員：28年度から32年度に向けて、どう展開するのか。

鳥海課長：そこまでは、まだ道路局から聞いておらず、区としては、できるだけ早く要望をしています。

加納議員：県会議員が来られる「議員団会議」に警察署長も参加してもらったらどうか。警察との連携も大事だと思う。

加納議員：学習支援、生活支援は本当にありがたい。その上で、個人情報やいじめの問題も関連してくる可能性もあるので、ネーミングも含めて丁寧に進めてほしい。

加納議員：瀬谷区の議員が何をやっているのかが分かるように、会議のモニター傍聴を他の先生方の意見も聞きながら検討していただきたい。

川口議員：瀬谷フェスティバルで駐車場代を徴収したが、駐車場収入の額と、次回も継続するのかどうか伺いたい。

春原課長：駐車場1日500円で、976台であったので、48万8千円の収入です。これに関わる支出は、区画割りですとか警備等で約92万円です。来年度についても、予算収入としては約900台分で考えています。駐車場に係る支出を除草剤と警備員の増強で134万円ぐらいを考えていますので、実際係る費用の約3割を区民の方にご負担いただくということで、有料化を引き続き行っていきたいと思っています。

川口議員：500円徴収した際に文句を言われたり、トラブルというのは無かったのか。

春原課長：広報よこはまだけではなく、各世帯へのチラシの回覧もしていただいたので、周知はある程度しっかり図られたと思います。ただ、入口のところで、お金がかかるのだったら戻りますといったものもいくつかあったようです。

川口議員：500円より上がることは、今後特に考えていないということでのよいのか。

春原課長：1日単位で、ということであれば長く瀬谷フェスティバルをご覧いただけるということでもありますので、価格設定ですとか期間設定についてはこの形で進めたいと思っています。

川口議員：瀬谷区のホームページのアクセス件数がデータ表に出ていて、26年度は12万1千となっていて、非常に少ない。今はホームページだとかスマートフォンのモバイルサイトが、更に身近な窓口にならないといけないのではないのか。

横浜市もそうだが、瀬谷区のホームページ見てみると、非常に見づらい。区としては今後改善していくのかどうか。

鳥海課長：ホームページのアクセス数が、ご指摘のとおり18区中18位で、これは利用される区民の方の年齢なども一因であると思っています。現在、横浜市のホームページが全体として非常に使いにくいということで、市民局で全体的な見直しをする予定になっているので、瀬谷区としてもその中で、よりアクセスしやすい、親しみの持てるホームページになるように努めていきます。

花上議員：この間の予算研究会の中で、消防団の位置付けについて、特別地方公務員か、あるいは非常勤公務員かといったやり取りがあったが、結果的には消防局長が非常勤公務員と答弁した。そのため地方公務員法、公職選挙法などに抵触する可能性がある立場という説明を聞き、みんなが驚いたのだが、瀬谷消防署としては、どのように周知徹底を図っているのか。

吉田副署長：消防団の幹部研修や新入団員の研修を定期的に行う中でコンプライアンスについても内容に含め、そういった点も触れさせていただいています。

2 その他（旧上瀬谷通信施設の状況について）

加納議員：旧上瀬谷通信施設の現地の状況として、米軍の図面や防衛省の資料などの公的文献資料等を基に机上調査を行いましたとあるが、基地対策課はこの資料を確認しているのか。

片川基地対策課担当課長：説明会を我々も傍聴しており、説明会の資料は見ています。

加納議員：旧上瀬谷通信施設の歴史的なさまざまな資料を基にするという話だったが、そういった防衛省由来の資料は確認したのか。

片川基地対策課担当課長：報告書としてまとめたものがあり、説明会の後に、その簡単な概要版の冊子を、地元の農協の方、地権者の皆さんに閲覧をさせていましたので、その資料は、私どもも確認しています。

加納議員：「花博」という話題がものすごく新聞報道でもされおり、新たに予算案の中に1項目入ったが、どのような内容か。

片川基地対策課担当課長：跡地利用の推進方策の検討という形で予算案として入れています。基盤整備の促進の観点から、「花博」などの大規模なイベントをやりながら、基盤整備を促進し、調査も進めるということです。

| | |
|-----|---|
| | <p>加納議員：道路局の予算案に、「花博」を想定して上瀬谷を中心に広域的な道路整備の調査を始めるとあったが、基地対策課の認識はどうか。</p> <p>片川基地対策課担当課長：跡地利用をする場合は、「花博」は元より、将来の計画中で、道路局においても検討する必要がある、予算案に計上していると承知しています。</p> <p>加納議員：「花博」のようなイベントでは、周辺のアクセスが非常に厳しいという認識で、庁内検討会を行っているのか。</p> <p>片川基地対策課担当課長：跡地利用のプロジェクトを庁内で立ち上げ継続的にやってきており、「花博」のことにつきましても、その中で、今後議論をしていくものと思います。</p> |
| 備 考 | |